

熊谷旧桜堤・万平公園のご案内

竹井澹如翁碑銘(市指定文化財)



竹井澹如は、幕末に上州羽沢村(現・群馬県南牧村)生まれ。27歳のとき竹井本陣に夫婦養子で入りました。木戸孝允、後藤象二郎、板垣退助、大隈重信らと親交があり埼玉県議会が開かれると、初代の県会議長に選ばれました。熊谷堤に林有章らと桜を植えて保護し「名勝熊谷桜」の復活にも力を注ぎました。

熊谷堤栽桜碑



熊谷堤の桜は江戸から花見客がやって来るほど有名でした。しかし、度重なる洪水で桜の木が流されてゴミ捨て場に成ってしまいました。竹井澹如と林有章らが巢鴨の染井から桜の苗木430本を購入して桜堤を復活させました。

ここは旧熊谷堤の一部です。今から440年ほど前、織田信長が活躍していた頃、鉢形城主・北条氏邦が、熊谷のまちを洪水から守るため、現在の石原の松巖寺脇から石上寺、上熊谷駅の辺りまで堤防を築いたのが最初で「北条堤」と呼ばれました。その後、堤は久下の辺りまで伸ばされました。これを総称して「熊谷堤」と呼んでいます



千年桜(しだれ桜)

(熊谷南ロータリークラブ植樹)



櫻樹功勞碑

(新井良作 撰 酒井創七 書)



名勝熊谷堤の碑



大正12年、埼玉県から「史蹟名勝記念物」の指定を受け、昭和2年内務省から「史蹟名勝天然記念物」の指定となりました。熊谷堤の高さは約3m、天端の幅は約4m。

熊谷観光ボランティアガイドの会
くまがい探偵団



蚕 霊 塔



この万平公園東隣りには平成10年まで「埼玉県繭検定所」がありました。また、竹井澹如が桑園を作って養蚕を支援した事も有って、「蚕霊塔」が建てられた。中央は「繭玉」。左が「桑つみ」、右は「繭かき」の女神のレリーフ。繭の供養塔。